

杉野小中だより

6月号

平成27年6月25発行（文責：本庄良孝）

6月20日の土曜授業を振り返って

校長 小川 守道

日頃は、杉野小中学校の教育に対しましてご支援・ご協力をいただきお礼を申し上げます。5月の奉仕作業では、おかげさまであつという間にきれいになり、喜んでおります。

今回は、6月20日（土）に行いました土曜授業のご報告をいたします。杉野学区教育振興会文化事業として、「お元気ですかにこにこ訪問」（6月10日）の学習活動発表と「書道体験」を行いました。

書道の学習におきましては、社会人活用中村先生の指導と児童生徒の書制作への勤勉さで、美術展覧会での賞状獲得率は県下有数であることはPTA総会等でお話しさせていただきました。また、地域人材である田中政光さんの指導を受け、「書」という伝統芸術への生涯にわたる興味関心へのいざないという観点から日頃体験できない独創的な書活動を行っています。昨年度は伊吹高校の書道パフォーマンスでしたが、今年は漢字のルーツである篆書・象形文字にチャレンジいたしました。親子、地域の皆さんが短時間のうちにすばらしいできばえの作品を色紙に作り上げました。楽しいひとときでした。

それに先立ち、児童生徒が「お元気ですか にこにこ訪問」の体験を趣向を凝らして発表しました。小中学校児童生徒22名が6グループに分かれ、地域の高齢者の方を訪問するにあたり、事前に人と人が会うのにどんな話がよいのか、どんな態度が望ましいのかを考え、準備をしました。実際に対話・会話をさせてもらうことにより実感し、事後その体験から何を考えさせられたのかを整理して、人前で発表するという貴重な学習発表の場でした。そして、他教科と連動することによって、たとえば国語で学んだ「話し合い」「発表」の基礎基本な知識・技能を、実際に生かす体験的な教育活動となります。

また、中学校2年生の社会科では「杉野地域の課題と課題克服の方策」をテーマに、先生と生徒が1対1で話し合いを行いながら授業を進め、教科書と日常生活と結びつけて学習しました。

今文科省では、今後の目指す教育は課題を自分で見つけて解決に向けて主体的、協働的に学んでいく「アクティブラーニング」教育であると打ち出しています。まだまだ未熟ではありますが、本校ではすでに「アクティブラーニング」の教育を先取りしてやっているといえます。そして本校では、22名全員がそれぞれに役割を持ち発表に参加して、授業の中に自分の居場所、活躍すべき時があります。これも本校ならではの特性だと思います。今後とも、特色ある教育活動ができますようご支援・ご協力をお願いいたします。

地域の皆様、ありがとうございました

PTA奉仕作業 5/30(土)



多くの地域の方のおかげであつという間に美しくなりました。ありがとうございました。



PTAの方は、農園のネット張りをさせていただきました。



中学生は、テニスコートの整備を行いました。

救急救命講習会

夏のプール開放に先駆けて、中学生と保護者のみなさんは、消防署の署員の指導を受けました。



杉野学区教育振興会の入会並びに会費納入のお礼

初夏の候、皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、当会の各事業に深いご理解と絶大なご支援をいただきありがとうございます。

さて、「当会への入会並びに会費納入」についてお願いいたしましたところ、下記のとおり多数の方々のご賛同をいただき誠にありがとうございました。

杉野学区の将来の「宝」である子どもたちに期待される皆様方の熱い思いの現れに感謝申し上げます。このお金を杉野っ子のために有効活用していくことで皆様方のご好意にお応えさせていただきたいと思っております。

今後とも当会に対し、温かいご支援・ご助言を賜りますようお願い申し上げ、併せて皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、お礼の言葉といたします。

平成27年6月25日

杉野学区教育振興会会長 山中 正夫
杉野小中学校 校長 小川 守道

杉野学区教育振興会の入会並びに会費納入状況

滋賀県教育会（長浜市教育会）	
会 員	1号会員……8名
	2号会員……2名
	3号会員……2名
納入金額	22,000円
杉野学区教育振興会（杉野教育会）	
会 員	154名
会 費	204,000円

集金に際して、自治会長様およびPTA会員様にたいへんご苦勞をかけましたが、昨年とほぼ同額の会費を集めることができました。本当にありがとうございました。子どもたちのために、大切にに使わせていただきたいと思います。

お元気ですかにここ訪問 6/10(水)

杉野学区のお年寄りの家庭を訪問し、昔の遊びや生活についてお聞きしたり、昔ながらの遊びをして交流を深めています。また、絵手紙や手づくりのプレゼントも渡しています。その取組を紹介します。

事前計画・準備

6月8日(月)～9日(火)



小学生と中学生が協力して、絵手紙や風鈴を製作しているところです。とてもすてきなプレゼントができました。

訪問

いよいよ訪問です。児童生徒が点てた抹茶を飲んでいただきました。伝統的な遊び「あやとり」で楽しみました。

おじいさん、おばあさんは大喜びで、子どもたちはたいへんよい経験ができました



杉野学区教育振興会文化事業 6/20(土)

学習発表

「お元気ですかにここ訪問」の様子を保護者や地域の皆様に報告しました。

参加者からは「訪問中の楽しそうな雰囲気が伝わってきた。」など、たいへん好評でした。



書道体験

学習発表のあとは、親子、地域の皆様といっしょに書道体験を行いました。今年は、京都橘大学書道部の方を講師に迎え、「甲骨文字」に挑戦しました。



参加者には初めての体験の方が多かったのですが、「子どもたちと交流できて楽しかった。」「親子で楽しめました。」という意見をお聞きしました。作品は文化祭に展示しますので、ぜひご来場ください。

杉野コラム

「梅雨」という言葉

杉野中学校 水口拓央

梅雨ですね。毎年この時期になると頭に「？」が浮かびます。なぜ梅の花が咲く頃でもない6月から7月にかけての雨を「梅雨」と呼ぶのでしょうか。

調べてみたところ、どうやら「梅雨」の由来は、主に2つの節があるようです。

1つ目は、「霪雨(ばいう)」という言葉が中国でつくられ、日本に伝わったという説です。そもそも「霪雨」の由来は長雨と湿気により霪(かび)が生えやすくなる時期だから。しかし、「かび」の雨ではイメージが悪いということで、同じ「ばい」の音を持つ「梅」という表記に改めたそうです。

2つ目は、長雨の時期と揚子江のほとりにある梅の実が熟す時期が同じだったことからだそうです。

一見、この時期とは無関係に見えがちな「梅」ですが、言葉の由来をたどってみると、実はリンクしていたのです。

「梅雨」に絡めてここで問題です。「梅雨前線」はどちらの前線に分類されるのでしょうか。

A: 停滞前線 B: 閉塞前線

7月の行事予定

	小学校	中学校
1(水)	交通指導、安全点検	小中合同全校集会
2(木)		期末テスト
3(金)	書に親しむ杉っ子教室 びわ湖の日の取組	期末テスト、ごみ0作戦
4(土)		
5(日)		
6(月)		
7(火)	小中合同委員会活動	
8(水)		
9(木)		
10(金)	第2回学校運営協議会	
11(土)		
12(日)		
13(月)	字会、大掃除	
14(火)	お話にじの会	
15(水)	交通指導、安全点検	
16(木)	保護者会(中3は午前中に進路説明会を実施)	
17(金)		終業式、壮行会、大掃除
18(土)		夏季総体(ブロック予選)
19(日)		夏季総体(ブロック予選)
20(月)	海の日	
21(火)		夏季休業開始
22(水)	終業式	
23(木)	夏季休業開始 水泳教室・強化練習	
24(金)	水泳教室・強化練習	
25(土)		夏季総体(県大会)
26(日)		夏季総体(県大会)
27(月)	長浜市水泳記録会	
28(火)	堀川小との交流活動	
29(水)	フローティングスクール	
30(木)	フローティングスクール	
31(金)		

8月1日(土) 8:00より資源回収を実施します。地域の皆様、ご協力いただきますようお願いいたします。